

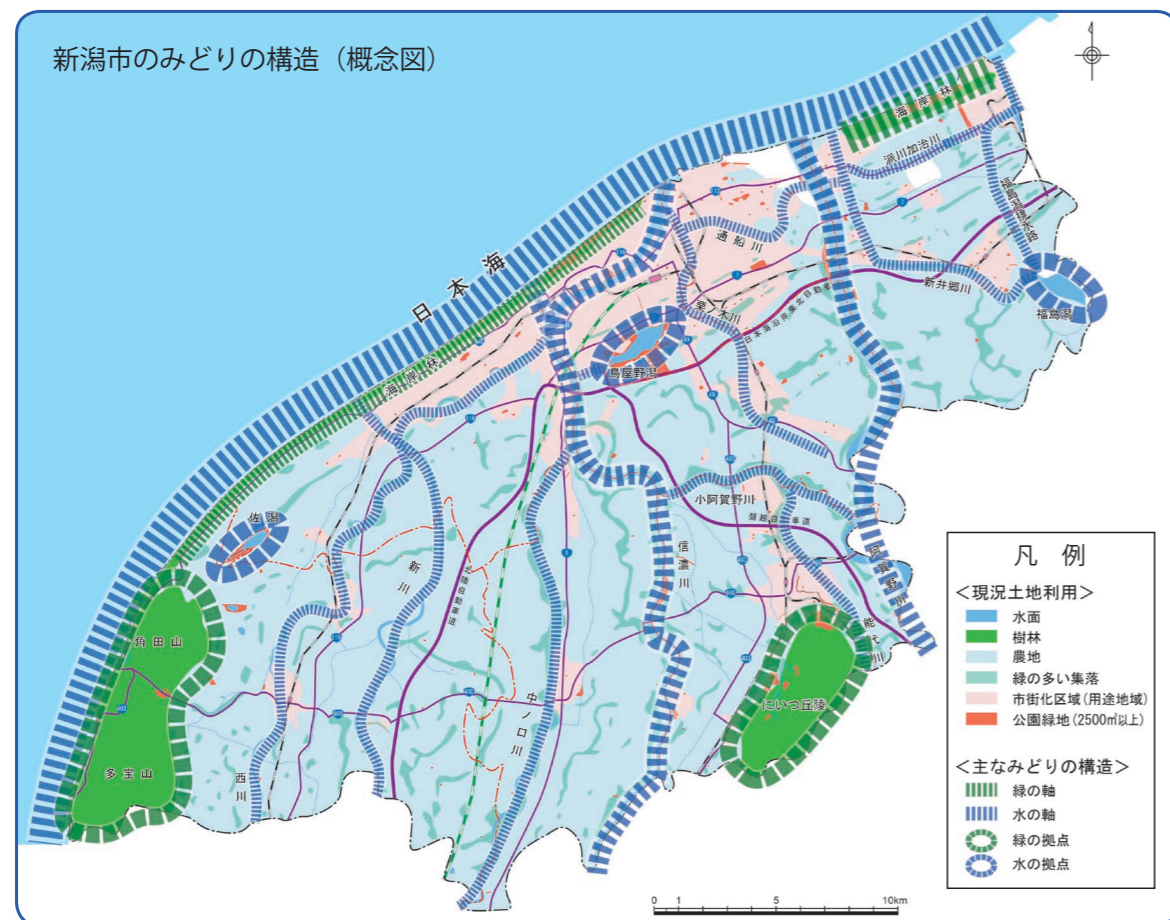
第2章 新潟市をとりまくみどりの現状

1 新潟市のみどりの構造

新潟市域の多くは、日本を代表する大河川、信濃川・阿賀野川から供給される土砂と乾田の歴史がもたらす沖積平野となっており、現在では、稲作を中心とする農業生産のみどりを有します。農地に水や養分を供給する大小の河川には、河岸林が形成され、水と緑のネットワークを形成しており、過去に河川の自然堤防や砂丘列の微高地に形成された集落には、屋敷林が現存しています。

海岸部には飛砂災害の防止を目的として植林された保安林が帯状に形成されており、まちに隣接していることから貴重なみどりとなっています。また、角田山や多宝山、にいつ丘陵はまとまった樹林地として、特徴あるみどりを形成しています。

一方、まちのみどりは、大小河川の水の軸と鳥屋野潟・福島潟などの水の拠点に加え、保安林や河畔林などが緑の軸として、また公園や都市緑地などが緑の拠点として形成されており、さらに街路樹や生垣など身近な緑がまちのみどりを装っています。



2 みどり率と緑被率

『新潟市みどりの基本計画』では、新潟市の重要な自然的要素である公園や里山、農地などの「緑」に、新潟らしさである河川や潟などの水面を含めて「みどり」として扱っています。新潟市全体における「みどり率」は、66.8%と高い数値になっていますが、これは広大な農地を保有していることが大きな要因で、まちのみどりに限定すると21.8%となり、他の政令市と比較しても平均的な数値となります。まちのみどり率を区別にみると、最も高いのが北区(35.3%)で、最も低いのは西区(14.5%)となっています。

一方、水面などを含まず、みどりに覆われた面積の比率については「緑被率」として表現され、市全体の緑被率は62.5%となりますが、市街化区域では市全体で10.0%、特に中央区や東区の市街化区域で非常に低い状況(約4%)となっています。

新潟市の「みどり率」

	新潟市全体			まち			まち以外		
	地区面積 (ha)	みどり面積 (ha)	みどり率	地区面積 (ha)	みどり面積 (ha)	みどり率	地区面積 (ha)	みどり面積 (ha)	みどり率
新潟市	72,610	48,518	66.8%	14,677	3,205	21.8%	57,933	45,313	78.2%
北区	10,792	7,582	70.3%	2,164	763	35.3%	8,628	6,819	79.0%
東区	3,877	956	24.7%	2,763	452	16.4%	1,114	504	45.3%
中央区	3,742	865	23.1%	3,279	679	20.7%	463	185	40.0%
江南区	7,546	5,126	67.9%	975	192	19.7%	6,571	4,933	75.1%
秋葉区	9,538	7,222	75.7%	1,540	430	27.9%	7,998	6,792	84.9%
南区	10,083	7,925	78.6%	411	122	29.8%	9,672	7,803	80.7%
西区	9,381	4,720	50.3%	2,888	419	14.5%	6,493	4,301	66.2%
西蒲区	17,651	14,121	80.0%	657	147	22.3%	16,994	13,974	82.2%

[注] みどり：植生、水面、公園を総じて「みどり」と位置づけ
 まち：市街化区域（又は用途地域）、及びこれと隣接する水面、保安林、公園緑地等を含めた区域

新潟市の「緑被率」

	全体			市街化区域			市街化調整区域		
	地区面積 (ha)	緑被面積 (ha)	緑被率	地区面積 (ha)	緑被面積 (ha)	緑被率	地区面積 (ha)	緑被面積 (ha)	緑被率
新潟市	72,610	45,358	62.5%	12,596	1,264	10.0%	60,014	44,094	73.5%
北区	10,792	6,793	62.9%	1,624	248	15.2%	9,168	6,545	71.4%
東区	3,877	617	15.9%	2,471	96	3.9%	1,406	521	37.0%
中央区	3,742	400	10.7%	2,696	114	4.2%	1,046	286	27.3%
江南区	7,546	4,654	61.7%	946	151	15.9%	6,600	4,503	68.2%
秋葉区	9,538	6,878	72.1%	1,421	299	21.0%	8,117	6,579	81.1%
南区	10,083	7,600	75.4%	360	67	18.6%	9,723	7,533	77.5%
西区	9,381	4,488	47.8%	2,436	161	6.6%	6,945	4,327	62.3%
西蒲区	17,651	13,929	78.9%	641	129	20.2%	17,010	13,800	81.1%

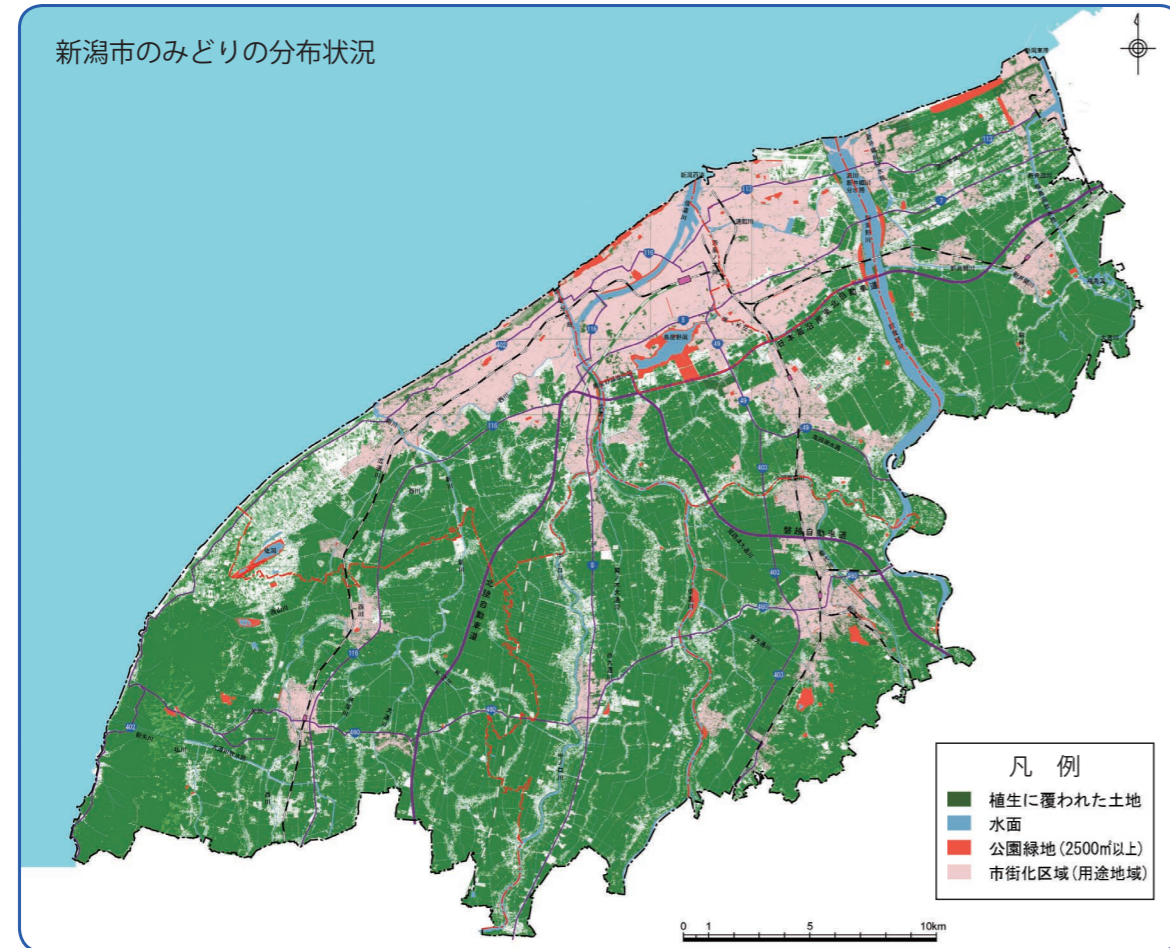
「新潟市みどりの基本計画」より

3 新潟市のみどりの課題

新潟市におけるみどりは、大河川や広大な農地、保安林などに囲まれ、市域全体では良好なみどりが確保されているものの、市街化区域においては、みどりが不足していることが分かります。市のみどりを支える農地の多くは、稲作や畑作など農産物の緑であり、みどりとして担保される時期が限定されるなどの課題があります。また市街化により、まちの中の農地や良好な樹林の減少がみられるなど、みどりの減少傾向が続いています。

一方、保安林や里山林は、森林法などの法令などに沿って維持管理されており、将来も担保されるものといえることから、良好な樹林環境を維持し、野生生物の生育地・生息地として保全しながら活用を図っていく必要があります。

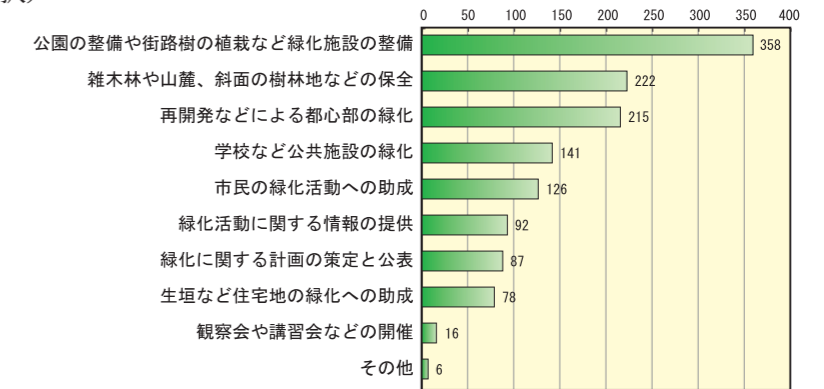
新潟市みどりの基本計画の基本理念である“次世代に誇りを持って引き継ぐ豊かな水と緑”を達成するためには、担保性の高いみどりを保全、創出、さらには演出する必要があります。特に市民への先導役として行政が行う公共施設への緑化が重要な役割を担っていることから、公共施設緑化の推進にあたっての仕組みや基準などの重要性が高まっています。



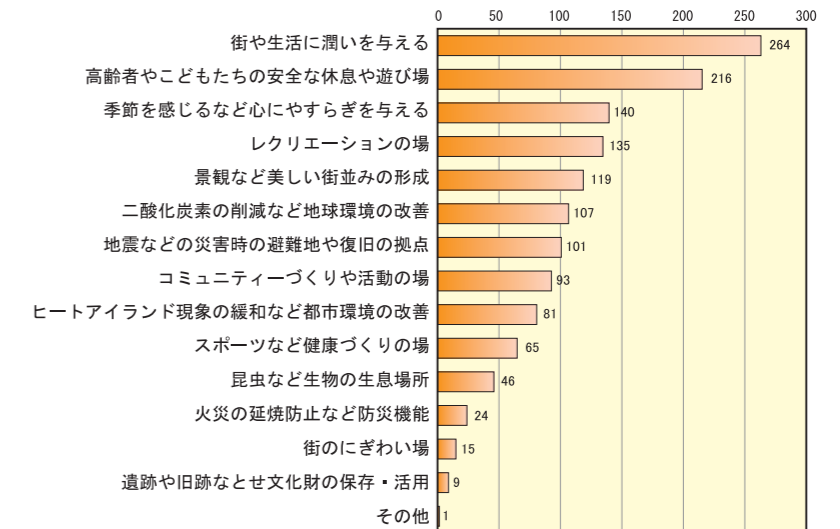
4 公園や緑地に対する市民の意識

調査名：大都市都市公園機能実態共同調査より
 調査期間：平成 19 年 12 月
 回答者数：500 人(新潟市内居住者を対象)
 調査方法：インターネットを利用したアンケート
 実施者：(社) 日本公園緑地協会

【質問】
 緑を増やしたり守ったりするために、今後、行政に期待することは何でしょうか。
 (主なものを3つ以内で選択)



【質問】
 公園の機能として重要なものはどのような機能ですか。(主なものを3つ以内で選択)



【質問】
 今後、身近な公園（歩いて 10 分程度）で必要な機能は何でしょうか。(主なものを3つ以内で選択)

